

「寒川町で出会った、季節外れの黄色い絶景」

■ さむかわひまわり畑

寒川町には、冬に約10万本ものひまわりが咲く場所があります。取材で訪れた私は、「冬にひまわりなんて本当に咲くの？」と思っていましたが、実際に畑に立つと一面が明るい黄色に染まり、思わず足を止めてしまいました。



このひまわりは、9月中旬から三回に分けて種をまき、11月初めから12月初めに見頃を迎えるよう調整されています。背丈が低い品種のため、子どもから高齢の方まで摘み取りやすく、1人5本まで持ち帰ることができます。



活動を支えているのは地域のボランティアの方々です。ひまわりは日当たりが重要で、できるだけ自然に育つよう管理されています。取材中、「茎は長めに切ると飾りやすいよ」と教えていただき、ひまわりの種類だけでなく、選び方にも人それぞれの個性が出るのが面白いと感じました。



寒川町の冬のひまわりは、地域の思いが詰まったあたたかい風景でした。冬の澄んだ空気の中で咲く黄色のひまわり畑は、訪れる人の心まで明るくしてくれます。

■ 川とのふれあい公園

摘み取ったひまわりを片手に、近くの「川とのふれあい公園」にも立ち寄りました。ここは相模川の河川敷に広がる、約7万2千平方メートルの広大な公園。見渡す限りの芝生が広がり、風がやわらかく通り抜けていく、地元の憩いの場です。中央には広々とした芝生広場、北側には天然芝のサッカー場、南側には野球場があり、スポーツを楽しむ人の姿も多く見られます。



また、1週900メートルのランニングコースが整備されているため、ウォーキングやジョギングにもぴったり。冬の季節には、公園内の花壇に咲くひまわりを見ることができます。相模川の向こうには、富士山が顔を出すことも。ひまわり畑の賑わいとはまた違った、静かで広々とした景色が広がり、思わず深呼吸したくなる場所でした。

冬のひまわりと相模川の自然が楽しめる寒川町は、この季節ならではの魅力が詰まった場所です。ぜひ皆さんも、冬の寒川町を楽しんでみてはいかがでしょうか。